

Windowsの機能でも2ギガ以上のテキストデータを確認できる？

整理

分析

可視

Windowsの機能でファイル確認を行う一例を紹介します。

- OS (Windows) のデータ制限 (2GB以上) によりテキストデータ (txtやcsvなど) の中身が確認できない。
- OSのデータ制限はないが、メモリ量によりテキストデータの中身が確認できない。
- 専用のアプリ・エディタを購入するのが面倒。



ビャード

①タスクバーの検索窓に「cmd」と入力

②「管理者として実行」をクリック

③コマンドプロンプトに命令文を入力

※メモ帳等で書いた命令文をコピーして
右クリックで貼付けることができます。

元のファイルみたときに、データ型が異なってるのがあって知ったときはつらい……信頼できないデータだと



例えば、全角と半角が混ざってるとか……
ああ、チェック機能なしで入力してるのねん

しかたない！
僕がなおりますん



-Skip 1
先頭から読み飛ばす行
※項目名あり：0
項目名なし：1

数秒でデータが抽出されるので、始めて使ったときはおどろかれますよ。
何よりも特別なアプリが不要です！



③

(例) 命令文

powershell -command "Get-Content D:¥test¥○○○○○○○○.csv | Select-Object -Skip 1 -First 5" > D:¥test¥△△△△△△.txt

対象ファイルのフルパス

抽出後のフルパス

-First 5
データ確認に要する行数
※先頭から5行抽出